

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公表番号】特表2016-525752(P2016-525752A)

【公表日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-051

【出願番号】特願2016-528631(P2016-528631)

【国際特許分類】

G 06 T 7/00 (2017.01)

【F I】

G 06 T 7/00 300 G

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月12日(2017.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

この記述子の簡単な符号化法は、"副記述子ごとの"順序で、すなわち、一般的な場合は、 $v(i)_0, 0$ 、 $v(i)_0, 1$ 、…、 $v(i)_0, 7$ 、 $v(i)_1, 0$ 、 $v(i)_1, 1$ 、…、 $v(i)_1, 7$ 、…、 $v(i)_5, 0$ 、 $v(i)_5, 1$ 、…、 $v(i)_5, 7$ という順序で、複数の要素を計算することおよび符号化することを含む。ここで、 $v(i)_i, j$ は、副記述子 $v(b)_i$ の要素 $v(i)_j$ を示す。これは、どの要素が符号化されるべきかを決定すべく、例えば図3に示されるような適切な複数の変換を使用して、また、例えば図4に示されるような、所望の記述子長に対する適切な要素利用の複数の組を使用して、変換された副記述子 $v(b)_0$ に対して複数の要素 $v(i)_0$ 、 $v(i)_1$ 、…、 $v(i)_7$ を符号化し、次に、変換された副記述子 $v(b)_1$ に対して複数の要素 $v(i)_0$ 、 $v(i)_1$ 、…、 $v(i)_7$ を符号化し、等々を意味する。